

中九州横断道路(大分おおいた～犬飼いぬかい)

参考資料

令和4年12月15日

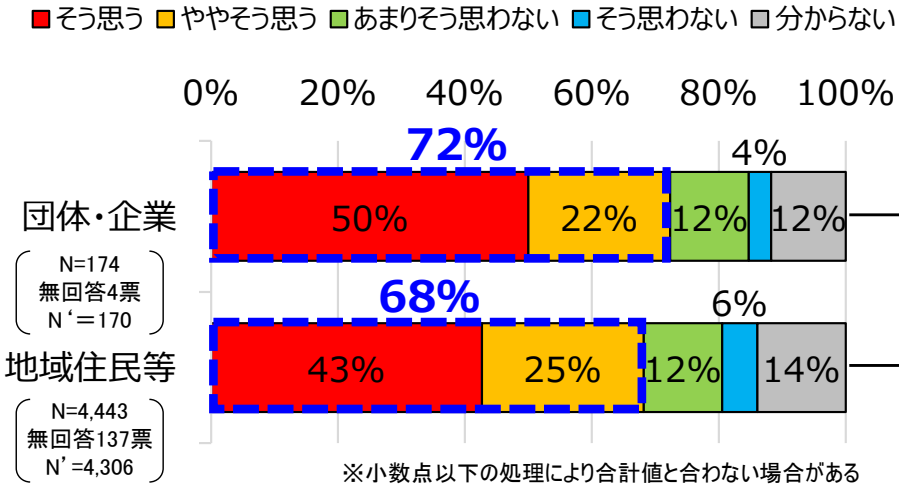
国土交通省 九州地方整備局

第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「産業」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題① 地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分>

- いずれの意見聴取方法においても、約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、移動に時間がかかる・時間が読めないといった意見、企業誘致や物流の効率化を求める意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、物流拠点化に向けた広域ネットワークの構築が求められている。



- #### <団体・企業>
- 農産物は都市部ではなく地方にあり、鮮度保持の観点から物流が重要であると考える。(団体)
 - 熊本関連の物流は、現況では福岡方面からが多く、大分からは少ない。中九州横断道路が整備されれば、大分～熊本間の物流も増える可能性がある。(運輸業)
 - 竹田市は企業の参入が少ない。高規格な道路が繋がっておらず、交通の便が悪いことがネックになっている。(建設業)
 - 納品等での移動の際に見込み時間をかなり長く取る必要があり、スケジュール管理において、不明確な時間が多くなっている。(製造業)
 - ある程度の道路ネットワークは揃っている。(製造業)

- #### <自治体意見>
- ・大在港大在地区では新たなRORO船ターミナル、臼杵港では新フェリーターミナルなどの物流拠点整備と併せ、ポートセールスによる企業誘致など「九州の東の玄関口の拠点化」を進めており、**大分県版地方創生を加速するためには、ミッシングリンクである「大分～犬飼」を整備し、高速道路と一体となった広域道路ネットワークを早期に構築することが必要不可欠**である。(大分県)
 - ・製造業や農林業の出荷において、最も低コストな船便を利用するのに**犬飼ICから大在等の港まで一般道しかなく、他地域と比較して輸送コストや鮮度維持、納期等に大変不利**な状況である。(豊後大野市)

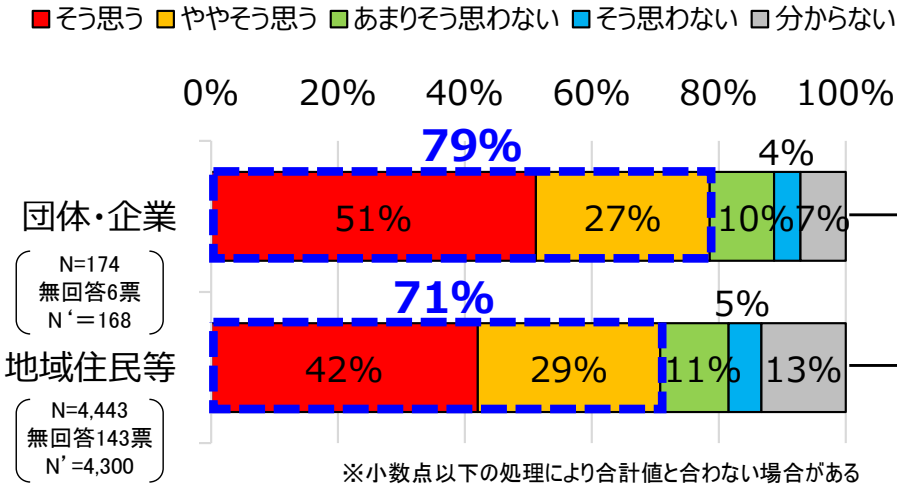
- #### <地域住民等>
- アクセスできるルートが限定されるため、移動に時間を要する。
 - 九州の東の玄関口から中九州へのアクセスが悪いため、企業誘致もできない。
 - 大分県は産業用道路と生活道路の区別がなく、産業にとっても生活にとっても不便である。産業用の幹線道路が必要。
 - トラックなどの大型車が多いため、朝夕の渋滞が激しい。
 - 九州自動車道につながるルートが2つあると高速道路の通行止め時にも物流が確保できる。
 - もっと高速や道路ネットワークがよくなれば道路を使う人も増えると思う。
 - 朝夕が渋滞するが、それ以外の時間帯はあまり感じない。

第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「防災」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題② 災害時の通行止め不安を感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、約7割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、冠水や土砂災害に対する不安、通行止め時の迂回路がないといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、災害時の通行止めの懸念や、災害に強い道路の確保が問題視されている。



<団体・企業>

- 災害が起きた時や事故の際はまだまだ通行止めになる時間、期間が長くかかっている。(団体)
- 大雨による冠水を経験したが、通行止めになった場合は迂回路がない。(製造業)
- 災害で通行止めになれば被災地への救援ができなくなる。(金融業)
- 災害時の救助活動、緊急物資の輸送、復旧活動の観点からもリダンダンシーの確保が必要。(団体)
- 大雨による道路冠水被害や土砂崩れ等による高速道路の通行止めなどを考えると、ルートを選択できることによるメリットは大きい。(団体)
- 川も山も隣接しており、冠水や土砂災害などの危険が高い。(建設業)
- 災害時は仕方がない。(建設業)

<自治体意見>

- ・国道10号においては、災害時には大分市方面からの物資の受入が出来なくなる、帰宅困難者が発生する等の懸念がある。国道57号においては大規模地震が発生した際、道路崩壊や土砂災害による通行止めが予想される。(豊後大野市)
- ・国道10号・国道57号は広域防災拠点と熊本県を結ぶ重要な緊急輸送道路であるが、これまでも豪雨災害時に通行止めがたびたび発生するなど、救助・救援活動に支障が生じた。そのため、南海トラフ地震等の大規模災害時の救助・救援活動のためにも、災害に強いネットワークの形成が喫緊の課題である。(大分県)

<地域住民等>

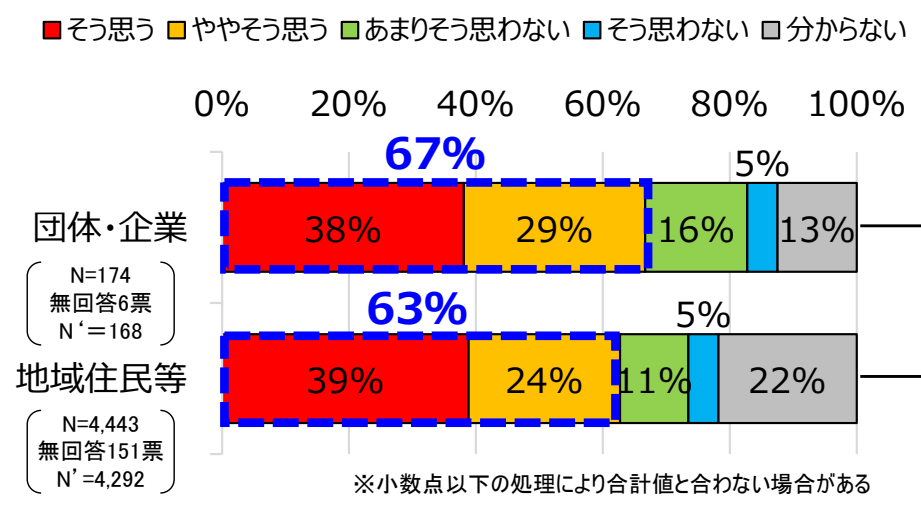
- 過去に路面冠水による通行止めが生じている。近年の雨の降り方がひどくなっており、より大規模な冠水が発生するのではないかと心配している。
- 近年、台風・地震などで自然災害が増しており、通行止めで物流が止まり不安を感じる。
- 通行止めになったとき、他ルートがかなり遠回りになり不便。
- 国道57号は熊本地震で寸断されていたので、また地震で同じことにならないか心配。
- 近くに大きな河川があるため、少し不安を感じる。
- 通行止め時に迂回路がない。
- これまでに災害による通行止めの経験がない。

第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「暮らし」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題③-1 朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、約6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、大型車の混在による渋滞、渋滞による不安や不満といった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、道路整備に伴う交通分散による渋滞解消が求められている。



- #### <団体・企業>
- 生活道路と産業道路を分離することで慢性的な渋滞の解消を図る必要がある。(団体)
 - 帰社便が夕方のピーク時間帯にかかるため毎日渋滞に引っ掛かり困っている。(卸売・小売業)
 - 朝夕のピーク時間帯に利用するため、渋滞が多い。混雑するのが分かっているため30分余裕をもって出るようにしている。(サービス業)
 - 渋滞が必ず発生し、通勤や配達への影響が大きい。(農業・林業)
 - 特に夕方に大型車が多く感じる。ピーク時間帯には一般の通勤交通と大型車が混在するので混雑する。(団体)
 - 渋滞によるイライラ感が生じ、時間の目途がつかない。(サービス業)
 - 朝夕の通勤時は仕方がない。(卸売・小売業)

- #### <自治体意見>
- ・通勤時(朝、夕方)は慢性的に渋滞している。本市からも臨海工業地帯へ通勤される方も多し。朝夕の渋滞によるストレスが交通事故を助長しているのではないかと。(豊後大野市)
 - ・朝夕の通勤時をはじめ、交通渋滞を解消し、事業者の輸送や市民の移動等の効率化を図る必要があると考える。道路整備によって、物流の大型車両等が減少し、交通混雑の緩和に寄与するものと考えられる。(大分市)
 - ・中村交差点は交差点も悪く、大型車がかなり低速で走行しないといけない。かなり混雑している時がある。(竹田市)

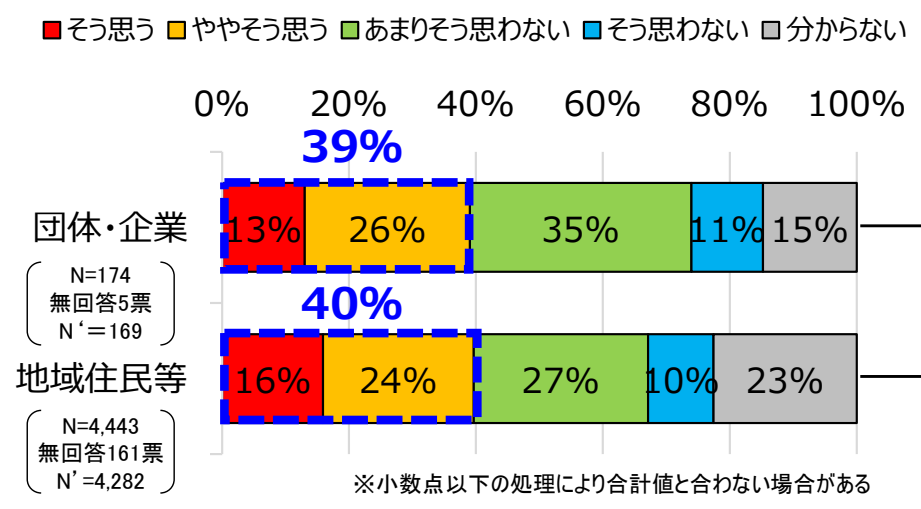
- #### <地域住民等>
- 急いでいるときに渋滞に巻き込まれてイライラと不安を感じる。
 - 以前通勤で利用していたが、渋滞が多く、かなり早めに自宅を出発していた。
 - 朝・夕の通勤時間帯は常態的に渋滞している。
 - 通勤時間帯の大型車による渋滞が頻繁に起こる。
 - 工事や輸送のためのトラックなどが多く、渋滞の原因になる。
 - 朝夕の渋滞で病院に遅れそうになることが多い。
 - 中村交差点の上り方向の右折は大型車も多く先に進むのが遅い。
 - 通勤時間帯に利用したことがない。
 - 大型車が多いことには仕方ないと思う。

第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「暮らし」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題③-2 交通事故が多い区間だと感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、約4割が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、通過交通の流入、渋滞により事故が多発しているといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見においても、渋滞による事故が問題視されている。



- #### <団体・企業>
- 国道10号は通過交通が生活道路に流入していることなどから、交通事故の発生割合が高い。(団体)
 - 交通量の増加に伴い、交通事故も増加する傾向にあると考える。渋滞発生を抑制することで良化することが期待できる。(製造業)
 - 大型トラック等の大型車の通行があり、交通事故発生時には大きな事故が発生していると思う。(卸売・小売業)
 - 交通量が多いので、間違いなく事故の危険性は高いと思う。スピード違反も多い。(サービス業)
 - 事故は発生しているが、そんなに頻繁ではない。(団体)
 - 多少はスピードが出るが取り締まりを強化すれば良い。(卸売・小売業)
 - 事故を見かけたことがない。(卸売・小売業)

- #### <自治体意見>
- ・本市から大分市内への買い物や通勤等の際は、特に朝夕の渋滞によるストレスが交通事故を助長しているのではないかと。道路が整備されれば、快適な通行による移動時間が短縮される上、ゆとりが生まれ交通事故が抑止される。慢性的な渋滞から交通事故が多い区間であるように感じる。(豊後大野市)
 - ・産業用の大型トラック等の通行が多いため、重大な交通事故発生のリスクが高く、安全性の向上が必要であると考えます。(大分市)

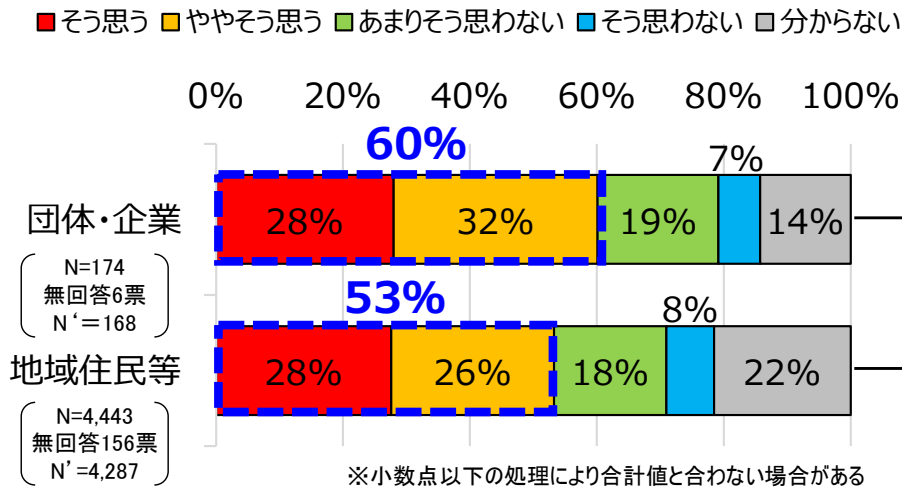
- #### <地域住民等>
- 大型車が多く、事故になるのではないかとすることがある。
 - 速度を出す車両が多く、割り込み車両も多く、危険。
 - 大きな交差点における事故渋滞が朝夕の通勤時間帯に発生する割合が高い。
 - 交通量が多いと事故も起こりやすい。
 - 事故はいつも見かける。特に玉突き事故が多い。巻き込まれないかヒヤヒヤする。
 - 特に事故が多いと思わない。
 - 交通事故は市内に比べて少ないと思う。
 - 事故を見たことがない。

第1回意見聴取結果＜地域の現状と課題：「医療」＞

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

＜課題④ 病院までの円滑な移動について不安を感じる＞

- いずれの意見聴取方法においても、約5割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、大分市内の病院まで時間がかかる、渋滞に巻き込まれるといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、救急搬送や災害支援活動における道路の速達性・信頼性が問題視されている。



＜団体・企業＞

- 豊後大野市や竹田市は大規模な病院が少なく、大分市内への移動は不可欠であり、道路整備は必要である。(団体)
- 渋滞の時には緊急車両も進めないような状況であり、不安を感じている人は多い。(団体)
- 犬飼ICを降りてから大分市街地へ必ず渋滞を抜ける必要がある。また、路面の凹凸等が多く、搬送する患者さんが揺れやすい。(医療・福祉)
- 人口減少等により救急医療体制の変更を余儀なくされている反面、交通網や道路整備は遅れていると感じている。(卸売・小売業)
- 病院までの距離が長いので、どうしても時間がかかる。(製造業)
- 道路を整備しても救急搬送時間は大きく変化しないと思う。ドクターヘリが運用できるヘリポートを増やすことが必要。(医療・福祉)

＜自治体意見＞

- ・竹田市及び豊後大野市では第三次救急医療施設がある大分市への搬送件数が多く、救急搬送に要する時間は県平均を大きく上回る。急性期には、早急に適切な診療を開始することが救命率の向上や予後の改善につながるため、アクセスの改善が必要である。(大分県)
- ・渋滞や通行止めにより傷病者の緊急搬送に支障が生じることが懸念される。(大分市)
- ・市民が大分市内の医療機関への受診傾向が高いため、道路整備は必要と感じる。また、災害が発生しDMATが災害支援に出動する際、道路冠水による通行止めにより活動に支障をきたす。(豊後大野市)

＜地域住民等＞

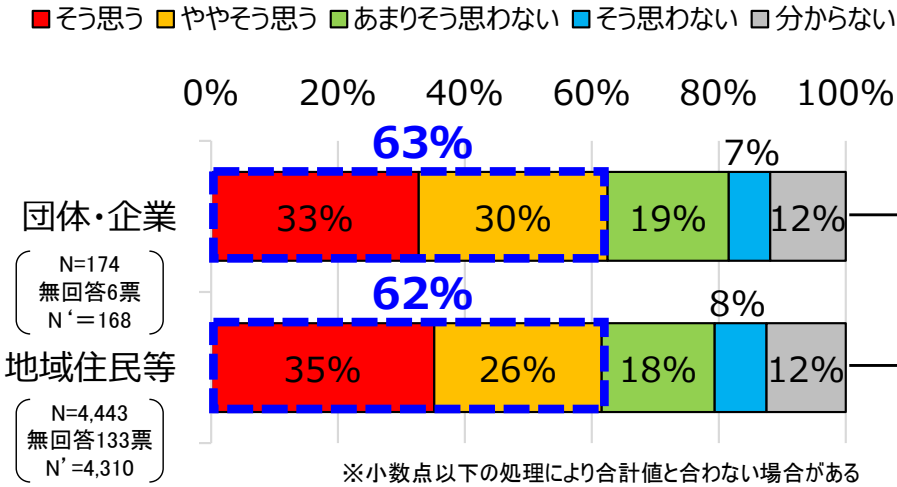
- 病気や事故にあったとき、不安を感じると思う。
- 大きい病院へ行かなければならないときなど、やはり大分中心部まで通っていないと不便だと思う。
- よく救急車を見るときに通りにくそうなため。
- 病院までの搬送時間が短くなれば治療開始が早くなり、救える命も増える。
- 大分市内の病院まで時間がかかる。
- 病院に行く際、渋滞しているので余裕を見て出ても予約時間のぎりぎりになってしまう。
- ドクターヘリでカバーされている。既存の道路で対応できている。
- 交通の問題より、病院が大分市に集中していることや立地が問題。

第1回意見聴取結果<地域の現状と課題:「観光」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<課題⑤ 主要な観光地間のアクセスが悪い>

- いずれの意見聴取方法においても、約6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答
- 自由意見では、観光地までのアクセスが不便といった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、観光地間の回遊性、道路ネットワーク不足による誘客促進の障害が問題視されている。



<団体・企業>

- 東九州自動車道とのアクセスが整備されておらず、他県からの観光客が九州東側から流入しづらい現状にある。(団体)
- 道路整備が遅れているために、観光地の回遊性がない。(サービス業)
- イメージで大分市内から豊後大野市までは時間がかかるとされていることが機会の損失につながっていると感じる。(サービス業)
- まだまだ知られていない観光地が多くあるが、道が狭くアクセスが悪いため、活かされてないように思う。(不動産業)
- 時間が読みづらいと敬遠してしまい、観光資源の発展につながらない。(サービス業)
- 観光地としての魅力があれば、遠くても足を運ぶと思う。(サービス業)

<自治体意見>

- ・おおい豊後大野ジオパークなどの観光スポットが点在しているが、アクセスが悪く、福岡・熊本方面からの誘客に支障をきたすとともに、滞在時間が十分に確保されていない。広域道路ネットワークの構築により周遊が可能となり、さらなる集客が見込まれる。(大分県)
- ・本市はジオパーク・エコパークといった自然を生かした観光資源に加え、サウナのまちとして観光振興に力を入れている。観光客は車で本市に来て頂く場合が多いようだが、大分市から規格の高い道路が繋がっていないことが観光客が増えない原因の一つであると考えている。大分都市広域圏としても観光振興に取り組んでおり、四国からの誘客にも力を入れたいと考えている。(豊後大野市)

<地域住民等>

- 高速ネットワークの連続性がないと足を延ばそうという気分になれない。
- 各市町が観光をアピールしているが、アクセスが悪いので滞在も短時間である。
- 行きたい場所があっても遠くて諦めることが多い。
- スムーズにいけると観光時間も長く楽しめる。
- 時間がかかるので、日帰りで行くのはきついから行くのに悩む。
- いい観光地が多くあるのに道路アクセスがよくないため損をしている。
- 本当に魅力があったら渋滞していても道が悪くても人は集まると思う。
- 以前に比べればかなり良くなった。
- 観光資源の魅力度、アピール不足だと思う。

第1回意見聴取結果(自治体意見)

■自治体への意見聴取結果【大分県】

国道10号・57号(大分市～豊後大野市間)の課題について		意見
① 産業	地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・大分港大在地区では新たなRORO船ターミナル、臼杵港では新フェリーターミナルなどの物流拠点整備と併せ、ポートセールスによる企業誘致など「九州の東の玄関口の拠点化」を進めており、大分県版地方創生を加速するためには、ミッシングリンクである「大分～犬飼」を整備し、高速道路と一体となった広域道路ネットワークを早期に構築することが必要不可欠である。 ・広域ネットワークの構築により、半導体の集積が進んでいる長崎・熊本・大分のネットワークが強化され、産業集積の推進や競争力強化につながることを期待できる。また、農畜産業では、農業産出額が県内でも有数の規模である豊肥地区から出荷拠点や大消費地への輸送が迅速化・定時性が向上する効果も期待できる。
② 防災	災害時の通行止めに不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・国道10号・国道57号は広域防災拠点と熊本県を結ぶ重要な緊急輸送道路であるが、これまでも豪雨災害時に通行止めがたびたび発生するなど、救助・救援活動に支障が生じた。そのため、南海トラフ地震等の大規模災害時の救助・救援活動のためにも、災害に強いネットワークの形成が喫緊の課題であり、災害に強い産業づくりにもつながる。
③ 暮らし	朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・物流交通と生活交通が混在しており、慢性的な渋滞が発生している。新たな幹線道路の整備により交通量が分散され、中村交差点の渋滞緩和が期待される。
	交通事故が多い区間だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に示されているように、国道10号の事故件数は多い。また、中九州横断道路(犬飼～竹田)でも過去5カ年の死亡事故・重傷事故件数の割合は県内平均と比べると非常に高い割合となっている。
④ 医療	病院までの円滑な移動について不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田市及び豊後大野市消防本部では第三次救急医療施設がある大分市への搬送件数が多く、救急搬送に要する時間は県平均を大きく上回る。 ・急性期には、早急に適切な診療を開始することが救命率の向上や予後の改善につながるため、アクセスの改善が必要である。
⑤ 観光	主要な観光地間のアクセス性が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいた豊後大野ジオパークなどの観光スポットが点在しているが、アクセス性が悪く、福岡・熊本方面からの誘客に支障をきたすとともに、滞在時間が十分に確保されていない。 ・広域道路ネットワークの構築により周遊が可能となり、さらなる集客が見込まれる。
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> ・工事にあたっては、希少な野生動植物の保護等に十分配慮が必要である。 ・大分港大在地区は物流の拠点であり、今後の物流戦略を推進するためにも大分宮河内ICとの接続が重要であり、工場や物流施設が集中している大分宮河内IC周辺の渋滞緩和にもつながる。 ・TSMCが進出する熊本県との広域道路ネットワークが形成されることにより、アクセス性向上や輸送コスト低下により、県内半導体関連企業の業務拡大と競争力強化が期待される。 ・近年、取扱物流量が伸びており、今後フェリーの増便や大型化に対応するため2バース目の整備に着手する臼杵港や野津東部工業用地へのアクセス性等を考慮した中間ICを東側に整備してもらいたい。 ・死亡または重傷事故防止のため、中央分離帯やワイヤーロープ等の安全対策を講じてもらいたい。

第1回意見聴取結果(自治体意見)

■自治体への意見聴取結果【大分市】

国道10号・57号(大分市～豊後大野市間)の課題について		意見
①産業	地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・大分港大在地区周辺においては、大分流通業務団地が本市の流通拠点としての機能を果たす中、近年は、大分県による港湾利用企業の誘致・集積やRORO船新ターミナルの整備等、「九州の東の玄関口」としての拠点化に向けた港湾整備が進んでいる。こうした産業振興に係るストック効果を最大限に発揮するためには、大分市東部地区への自動車専用アクセス道路が不可欠である。 ・JA共販の農産物は、大分青果センター(大在地区)に集荷されており、大南及び野津方面から運搬の際、渋滞等により時間がかかることから、物流の定時性の確保に加え、品質維持のための運搬時間の短縮が重要。 ・高規格道路の整備されている他市場への出荷により、本市場の集荷力が低下し、市場機能の低下(集荷・価格形成・分荷)が懸念されるため、道路ネットワークの構築が必須である。
②防災	災害時の通行止めに不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市内の臨海部から南部方面へと向かう主要路線が国道10号しかないため、昼夜を通して産業用の交通と生活用の交通が常に混同しており、混雑も見られ、災害時に通行止めとなった場合には迂回路の確保も難しいと考えられる。 ・国道10号の上戸次付近では、約28,000台/日の交通量があることから、冠水等による交通規制の影響は大きく、浸水想定区域を回避する中九州横断道路(大分～犬飼)の整備が必要と考えられる。
③暮らし	朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通勤時をはじめ、交通渋滞を解消し、事業者の輸送や市民の移動等の効率化を図る必要があると考える。 ・国道10号中村交差点は、主要渋滞箇所位置付けられており、中九州横断道路(大分～犬飼)が整備されることで、物流の大型車両等が減少し、交通混雑の緩和に寄与すると考えられる。
	交通事故が多い区間だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用の大型トラック等の通行が多いため、重大な交通事故発生リスクが高く、安全性の向上が必要であると考えられる。
④医療	病院までの円滑な移動について不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞や通行止めにより傷病者の緊急搬送に支障が生じることが懸念される。 ・災害等で天心堂へつぎ病院が機能しなくなった場合、近隣に救急医療を担う病院がないため、中九州横断道路の連結は、医療の面からみてもメリットは大きいと考える。
⑤観光	主要な観光地間のアクセス性が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・大南地区には、戸次本町や吉野梅園をはじめとした観光資源があるが、高速道路やJRとの接続も悪く、アクセス性向上が望まれる。 ・やまなみハイウェイ(主要地方道 別府一の宮線)と中九州横断道路が繋がり、大分市、別府市、由布市、阿蘇市、竹田市、豊後大野市にある観光地の周遊が快適になれば、観光客の増加に寄与すると考えられる。
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> ・大分～犬飼間は距離が離れているため、適切な位置へ中間ICの設置を望む。 ・計画予定地域には山城跡等広域にわたる周知の埋蔵文化財包蔵地が点在しており、ルート案によっては埋蔵文化財発掘調査の実施が必要となる。

第1回意見聴取結果(自治体意見)

■自治体への意見聴取結果【豊後大野市】

国道10号・57号(大分市～豊後大野市間)の課題について		意見
①産業	地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点である臨海工業地帯及び大分港へは一般地方道経由のアクセスとなっており渋滞等によりスムーズな物流が行われていないと感じる。 ・製造業や農林業の出荷において、最も低コストな船便を利用するのに犬飼ICから大在等の港まで一般道しかなく、他地域と比して輸送コストや鮮度維持、納期等に変不利な状況である。
②防災	災害時の通行止めに不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・国道10号においては大分市上戸次の道路冠水が記憶に新しく、災害時には大分市方面からの物資の受入が出来なくなる、帰宅困難者が発生する等の懸念がある。国道57号においては大規模地震が発生した際、道路崩壊や土砂災害による通行止めが予想される。 ・大規模災害時に国や他の自治体等からの受援あるいは支援物資の搬送など、あらゆる面で県都である大分市との移動時間短縮が求められており、特に大野川の氾濫等で国道10号線が冠水・寸断すれば、救助等に間に合わないこととなる。
③暮らし	朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時(朝、夕方)は慢性的に渋滞している。 ・本市からも臨海工業地帯へ通勤されている方も多い。朝夕の渋滞によるストレスが交通事故を助長しているのではないか。
	交通事故が多い区間だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・本市から大分市内への買い物や通勤等の際は、特に朝夕の渋滞によるストレスが交通事故を助長しているのではないか。道路が整備されれば、快適な通行により移動時間が短縮される上、ゆとりが生まれ交通事故が抑止される。慢性的な渋滞から交通事故が多い区間であるように感じる。
④医療	病院までの円滑な移動について不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が大分市内の医療機関への受診傾向が高いため、道路整備は必要と感じる。 ・災害が発生しDMATが災害支援に出動する際、道路冠水による通行止めにより活動に支障をきたす。また、災害拠点病院としても同様に患者受入や他院のDMAT受入等に支障をきたす。
⑤観光	主要な観光地間のアクセス性が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・観光が伸びない理由の一つに、アクセス性の悪さがあると思われる。 ・本市はジオパーク・エコパークといった自然を生かした観光資源に加え、サウナのまちとして観光振興に力を入れている。観光客は車で本市に来て頂く場合が多いようだが、大分市から規格の高い道路が繋がっていないことが観光客が増えない原因の一つであると考えている。また、大分都市広域圏としても観光振興に取り組んでおり、四国からの誘客にも力を入れたいと考えている。
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> ・JRが運行本数の削減や駅の無人化などを進める中、主要な公共交通機関がバスになりつつあるが、一般道だけでは乗車時間の長さからJRの代替にはなりにくい。また、高等学校の統廃合等で大分市に通学する高校生も多く、自動車専用道路を活用した通学時間の短縮が求められる。 ・自動車専用道路網が発達すれば、通勤時間短縮により定住人口が増え、休日の交流人口も増加する。

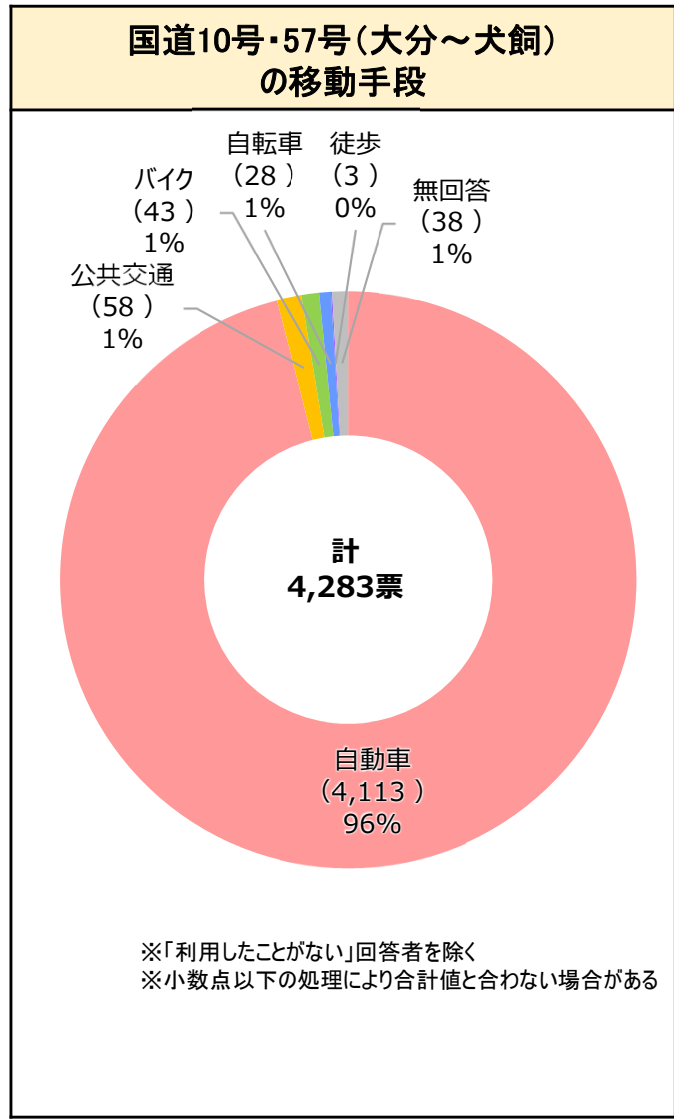
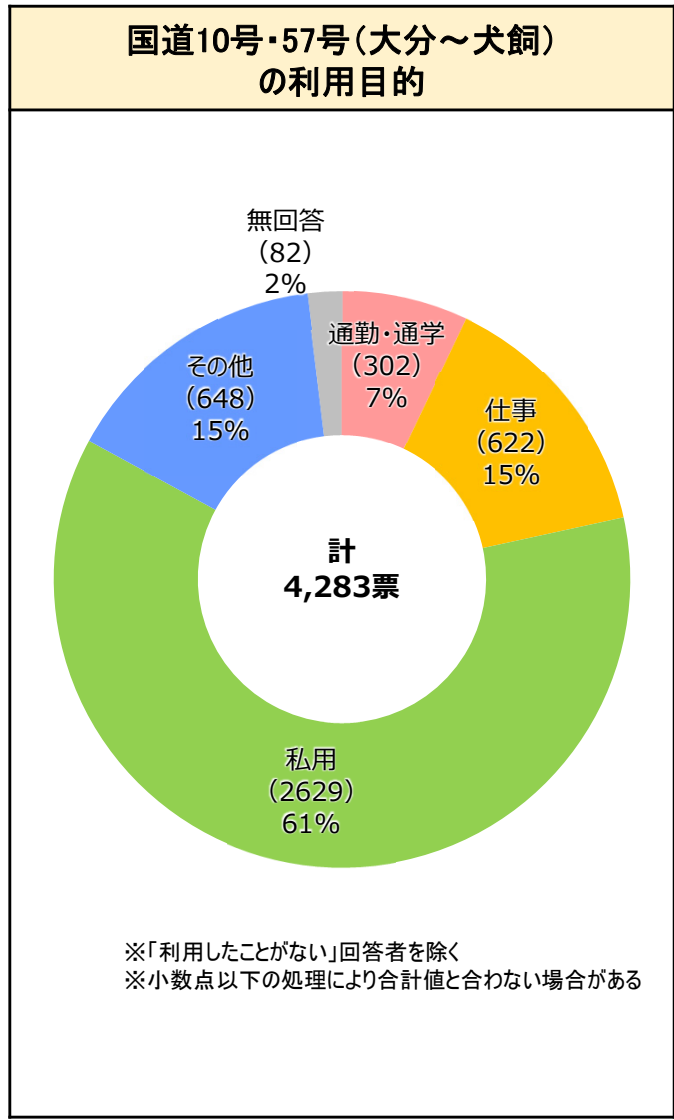
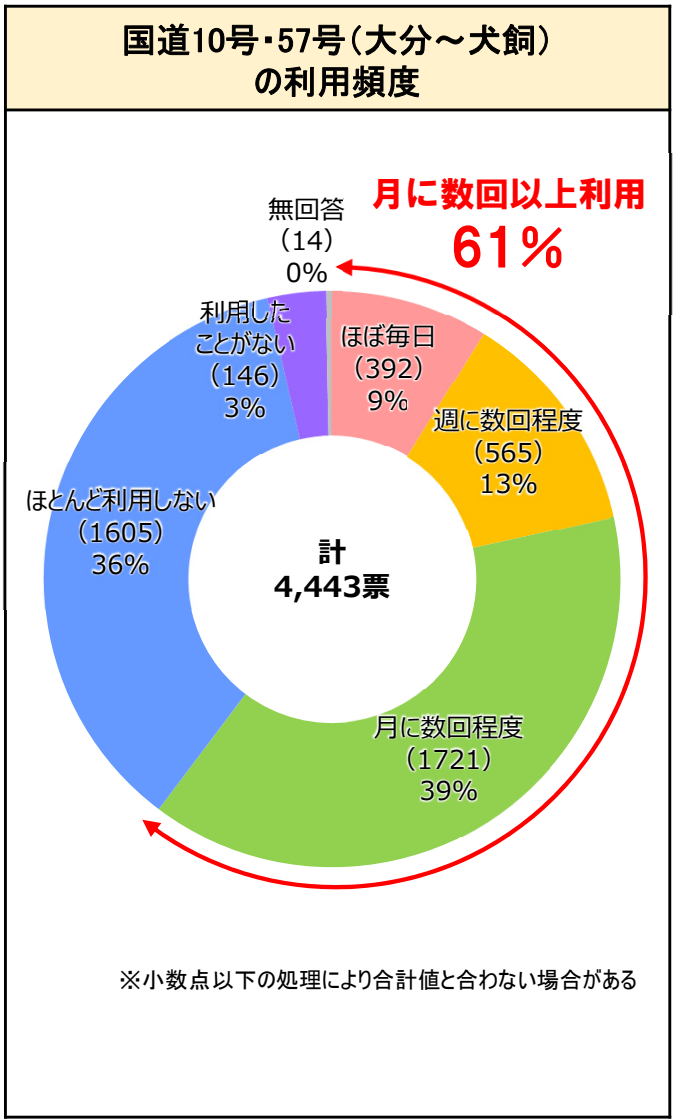
第1回意見聴取結果(自治体意見)

■自治体への意見聴取結果【竹田市】

国道10号・57号(大分市～豊後大野市間)の課題について		意見
①産業	地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ基地が大在にあるが、そこまでの幹線道路がない。・タンクローリーは戸次より大分側は狭い道(県道38号)を利用せざるを得ない状況になっている。 ・犬飼～竹田間が開通し、農業者の移動が早くなり、物流効率化が図られ、耕作面積が増えたという実態はある。さらに道路の延伸が進めば、大分市や熊本など他の地域への進出も進むのではないかと考えられる。道路が延伸していくと、市場の開拓にもつながる。物流のコスト面で有利になり、拡大していく要素がある。
②防災	災害時の通行止めに不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和電工ドームが大規模災害時の広域防災拠点になっており、発災時の県内の中核になるので、そこから国道57号へのアクセスを良くする必要がある。 ・南海トラフ発生時は沿岸部の道路は使えなくなると想定すると、エネルギー、物資の輸送の面で中九州横断道路は重要視されるべきだと思う。
③暮らし	朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・中村交差点は大型車の右折が多く、渋滞を実感している。 ・中村交差点は交差点も悪く、大型車がかなり低速で走行しないといけない。かなり混雑している時がある。
	交通事故が多い区間だと感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市～豊後大野市間ではないが、中九州横断道路(犬飼～竹田間)では、規制速度の切り替えに気付かず、ほとんどの人が80km/hで走行しており、事故が起こりやすいと感じる。
④医療	病院までの円滑な移動について不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月に豊後大野市内の病院の産科が廃止され、豊肥地区には産科がなくなった。ほとんどが大分市内の病院へ行っている。産科に限らず病院へのアクセスがよくなると良い。 ・救急搬送では1分でも早く行けた方が良い。 ・時間が短縮すれば、消防圏など圏域同士の横の移動が増えてくると期待される。
⑤観光	主要な観光地間のアクセス性が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田市はJR豊肥線の本数が少なく、車で来られる方が中心であることを考えると交通網がよくなることは竹田市へのアクセスの良さに直結する。 ・県外のお客さんからは、「早く東九州道と接続すると便利で良いのだが」という声は多く聞く。 ・四国からフェリーで大分へ～中九州横断道路を利用して熊本へという流れができるとかなり魅力的。 ・コロナの影響はあるが、観光入込は思ったほど減少しておらず、竹田ICの開通により近場のドライブ等での観光来場が増えているからではないかと予想している。中九州横断道路(犬飼～竹田)の開通効果は大きいとみている。
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> ・物流面で走りやすくなり大型トラックが増えると、観光客は嫌がられる方もいらっしゃる。 ・中九州横断道路(犬飼～竹田)が開通して、早くなって楽になったという効果の実感はある。 ・阿蘇方面との観光連携の事業には取り組んでおり、竹田市としても阿蘇からの観光誘客が長い間の課題になっている。竹田阿蘇道路への期待は大きい。

第1回意見聴取結果<参考:【回答者属性】>

- 回答者の6割以上の方が対象区間を利用している。
- 利用目的は、私用が最も多く約6割、次いで仕事約2割、通勤・通学が約1割の順になっている。
- 利用交通手段は、自動車9割以上を占めている。



END